



REGULATOR STOVE ST-310

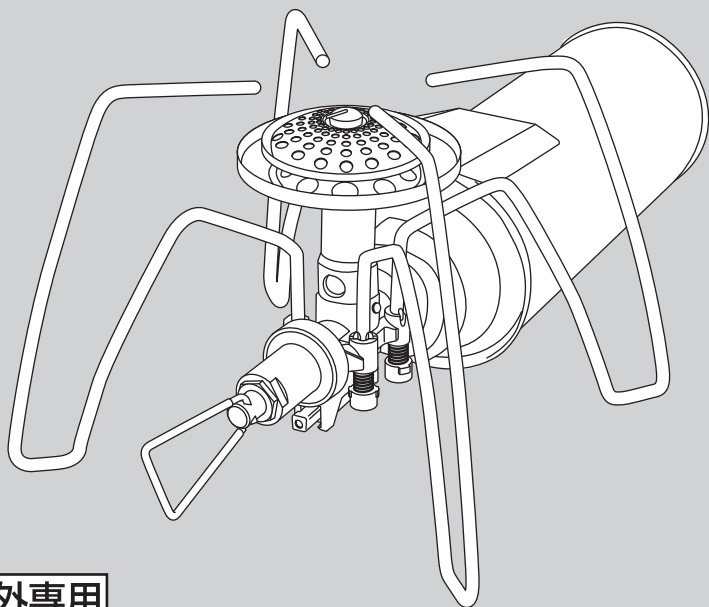
レギュレーターストーブ
(生産物賠償責任保険付・保証書付)

取扱説明書

このたびは SOTOレギュレーターストーブST-310をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき大切に保管してください。

目次

特に注意していただきたいこと	1~2
各部の名称/仕様	3
使用方法	4~5
日常の点検・手入れ	6
故障・異常の見分け方と処置方法	6
アフターサービス	7



屋外専用

◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある⊘マークは禁止を表します。

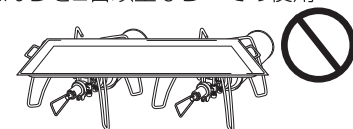
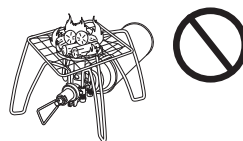
警告 (取扱を誤った場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。)

■使用容器 (ボンベ) 過熱注意

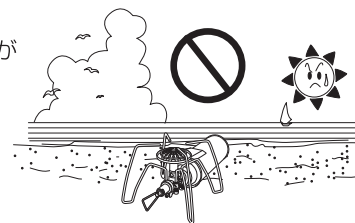
以下のような使い方は厳禁! 容器 (ボンベ) が過熱し爆発の原因となります。

●炭の火起こしなど炭をのせての使用

●こんろを2台以上ならべての使用



●夏の砂浜など日光によって容器(ボンベ)が過熱するような場所での使用



■使用容器 (ボンベ) の取扱上の注意

●使用容器 (ボンベ) はSOTO製品の専用容器 (ボンベ) を必ずご使用ください。

●容器 (ボンベ) に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。

●使用容器 (ボンベ) は火気や直射日光 (室内や車内の窓際など) を避けてキャップをして風通しが良く、湿気の少ない 40℃以下の場所に保管してください。

●使用容器 (ボンベ) を火の中に投げないでください。爆発して危険です。



●使用容器 (ボンベ) をファンヒーターの前など熱気のある場所に放置しないでください。熱で容器 (ボンベ) の圧力が上がり爆発する危険があります。

●保管してある容器 (ボンベ) は、時々点検してサビが発生している場合にはできるだけ早くご使用ください。

●使用中は時々正常に燃焼していることを確認してください。



■使用済み容器 (ボンベ) の処理に関する注意

●容器 (ボンベ) を振ってサラサラと音がする場合にはまだガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、火の中に投入すると爆発する危険があります。

●容器 (ボンベ) は完全に使いきってから他のゴミと区別して捨ててください。(各自治体の処理方法に従って捨ててください。)

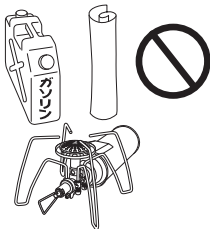
◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある⊘マークは禁止を表します。

警告 (取扱を誤った場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。)

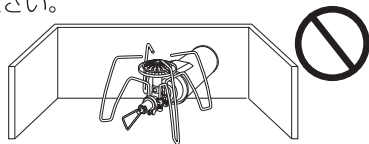
■火災予防のために

- こんろの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
- 落下物の危険のある場所では使用しないでください。
- 燃えやすいものからは、30cm以上離してご使用ください。



■使用場所

- 強い風が吹くときは使用しないでください。風で炎が消される危険があります。
- 屋外専用ですので家中、テントの中、車の中では絶対に使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠による窒息死のおそれがあります。
- 設置面が安定していて、平らで安全な場所に置いてご使用ください。
- 直射日光を避け、地面の涼しい場所でご使用ください。
- ヒーターやたき火の近くなど熱気があたる場所では絶対にご使用にならないでください。容器(ボンベ)が過熱され爆発する危険があります。
- 風よけのためでも石やブロックおよび板等で全面を囲んでの使用は容器(ボンベ)が過熱し、非常に危険ですのでおやめください。

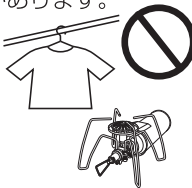


■換気について

- ご使用中は、換気に十分ご注意ください。
- 屋外でも換気の不十分な状態で使用しないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

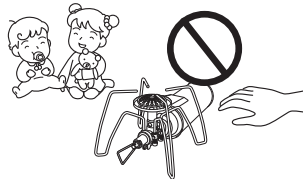
■用途について

- 調理以外の用途には使用しないでください。過熱、異常燃焼などによる焼損や火災などの危険があります。
- 衣類の乾燥などに使用しないでください。衣類が落下して火災になるおそれがあります。



■やけどに注意

- ご使用中およびご使用後は、こんろが高温になっていますのでやけどにご注意ください。
- ご使用の際は、お子さまに十分にご注意ください。
- 点火するときは、顔や手をバーナー付近に近づけないでください。



■異常時の処置

- 燃焼中は容器(ボンベ)を絶対に取り外さないでください。
- 万一異常燃焼を起こした場合や緊急の場合は、あわてず器具栓つまみをOFF(右)の方向に回らなくなるまで回して消火してください。それでも消えない場合は、消火器などで消火してください。消火を確認し、器具が冷めてから容器(ボンベ)を取り外してください。
- 器具栓つまみをOFF(右)の方向に回らなくなるまで回しても消火しない場合は、無理に器具栓つまみを回さず周囲に注意してガスがなくなるまで燃焼させたのち点検修理を依頼してください。

■補助具についての注意

- 鉄板、焼き網、セラミック製品、スモーカー等の補助具は指定のもの以外は使用しないでください。事故の原因になります。

◆アフターサービス

アフターサービスを依頼する前に6ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」を見てもう一度確認してください。確認の上それでも不具合な場合あるいはご不明の場合は、自分で修理なさらず、お買い求めになった販売店又は当社「お客様係」☎0120-75-5000までご相談ください。

レギュレーターストーブ ST-310 保証書

この製品は万全を期していますが、正しい使用にもかかわらず万一故障した場合は本保証書に製造番号、お買上げ年月日、販売店名、お名前、ご住所、お電話番号および症状をお書き添えの上、お買上げの販売店名に修理をご依頼ください。

製品名・型式	レギュレーターストーブ ST-310	お名前	
製造番号		ご住所	
保証期間	お買上げ日より1年間	お電話	()
お買上げ日	年 月 日		

取扱販売店・住所・電話番号	症状

SOTO 新富士バーナー株式会社
Sparked by nature

保証規定

- ※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- 保証期間内に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った正常なる使用状態において、万一故障した場合には、無料で修理いたします。
 - 修理依頼時には、つぎの事項にご注意ください。
 - ・必ず商品と本保証書をご提示ください。
 - ・保証期間を過ぎた修理依頼も商品と本保証書をご提示ください。
 - ・商品と本保証書の提示のない場合は、修理をお断りすることがあります。
 - ・ご贈答品等で本保証書にお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、当社「お客様係」☎0120-75-5000までご連絡ください。
 - 保証期間内でも、つぎの場合は有料修理になります。

- ・使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ・お買上げ後の落下、移動、輸送等による故障及び損傷。
 - ・火災、地震、水害、落雷、塩害、弊社指定以外の燃料使用によるもの、その他、天災地変、公害による故障及び損傷。
 - ・保証書の提示がない場合。
 - ・本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 4.本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
5.本保証書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

製造発売元/PL保険加入済

新富士バーナー株式会社

〒441-0314

愛知県豊川市御津町御幸浜一号地1番地3
TEL0533-75-5000(代) FAX0533-75-5033

https://shin Fuji.co.jp/

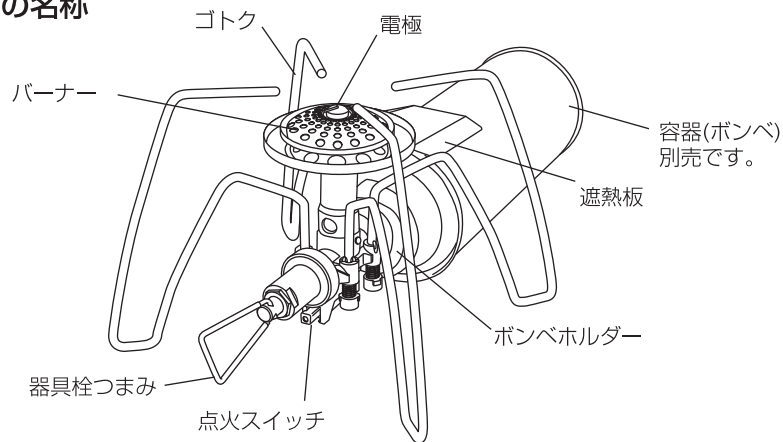
E-mail:info@shin Fuji.co.jp

MADE IN JAPAN

2024.5

◆各部の名称/仕様

■各部の名称



■製品仕様

製品名/レギュレーターストーブ
 型式/ST-310
 外形寸法/幅166×奥行142×高さ110mm
 (使用時・本体のみ)
 /幅140×奥行 70×高さ110mm
 (収納時)
 重量/330g
 発熱量^{※1}/2.9kW (2500kcal/h) (ST-760使用時)
 使用時間^{※2}/約1.5時間 (ST-760 1本使用時)
 使用容器/SOTO製品専用容器(ST-760、ST-700、
 ST-711、ST-712)
 点火方式/圧電点火方式
 材質/バーナー・器具栓つまみ・ゴトク:ステンレス
 ボンベホルダー・点火スイッチ:樹脂
 付属品/収納ポーチ
 生産国/日本

※1 気温25℃無風状態で点火後から55分間の燃焼データより算出。
 ※2 気温25℃無風状態で点火後から30分間の燃焼データより算出。

⚠ 警告

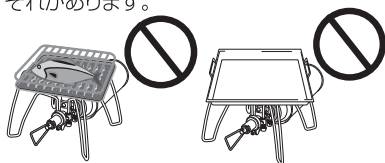
鍋等をのせての点火厳禁!

こゝろに鍋等をのせたまま点火操作をすると、鍋等が転倒しやけどをするおそれがあります。点火操作は必ず鍋等をのせない状態で行ってください。



⚠ 警告 輻射熱の大きい調理器具の使用厳禁!

セラミック付焼網、大きい鉄板等、輻射熱の大きい調理器具は絶対に使用しないでください。容器(ボンベ)が過熱して爆発等のおそれがあります。



■別売品 SOTO製品専用容器(ボンベ)

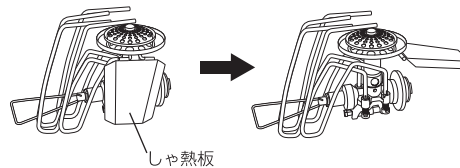
●SOTO ●SOTO ●CB TOUGH ●CB TOUGH
 レギュラ ーガス パワーガス 125 220
 ST-700 ST-760 ST-711 ST-712



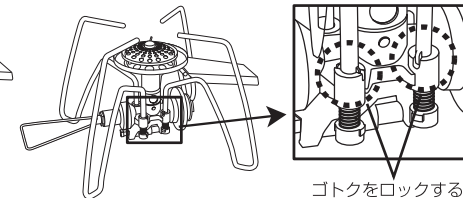
◆使用方法

1 バーナー部のセット

①遮熱板を下図のようにボンベホルダーの上まで回転させます。



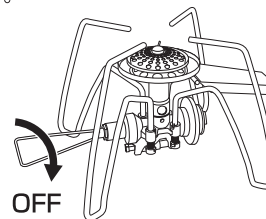
②4本のゴトクを開き、ロックされる位置まで均等に広げ固定します。4本のゴトクがロックされていることを確認します。



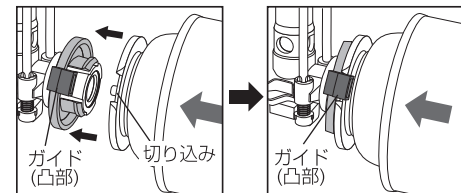
⚠ 注意 4本のゴトクがロックされていることを必ず確認してください。

2 容器(ボンベ)の取り付け

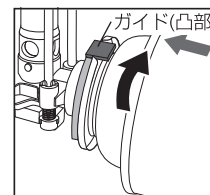
①器具栓つまみをOFF(右)の方向に回らなくなるまで回し完全に閉じていることを確認します。



②ボンベホルダーのガイド(凸部)が所定の位置(左側に止まるまで回した位置)にあることを確認します。容器(ボンベ)の切り込み部をガイド(凸部)に合わせ矢印方向に押し付けます。



③ガイド(凸部)と容器(ボンベ)の切り込み部を右方向に止まる位置まで約60度回します。ガイド(凸部)が真上を向いた位置が取り付け完了の位置です。



⚠ 注意 容器(ボンベ)の取り付け時の注意

容器(ボンベ)取り付けの際はガイド(凸部)が、所定の位置(左側に止まるまで回した位置)にあることを確認してください。所定の位置以外にあると容器(ボンベ)の取り付けができません。

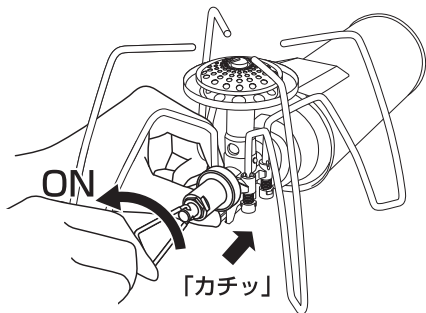


⚠ 警告 ガス漏れに注意

ガス漏れに注意してください。容器(ボンベ)取り付け後、容器(ボンベ)ががたつかないか、「シュー」というガス漏れの音やガスの臭気がないかを確認してください。

3 点火

器具栓つまみを「ON」(左)の方向に回し(約1.5~2回転回すとガスが出はじめます。気温等の自然条件により回転数変動する場合があります。) 点火スイッチを「カチッ」というまで押し点火を確認します。点火しないときは点火スイッチを続けて数回押します。ガスの勢が強すぎたり、気温、風、湿度等の自然条件により点火がうまくいかない場合があります。この様な時はマッチ、ライター等で点火します。

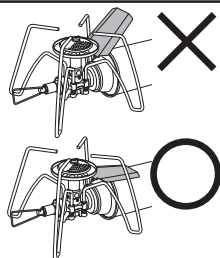


警告 生ガスに注意

生ガス(気化していない霧状の白いガス)が出た時は、点火せず一度器具栓つまみを閉じ、もう一度点火してください。

注意

遮熱板は必ずボンベに接触させてご使用ください。(図) 異常過熱により、遮熱板の変色ややけどの危険があります。

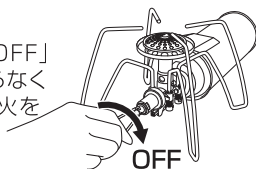


4 火力の調節

火力の調節は器具栓つまみで炎を確認しながら行います。

5 消火

器具栓つまみを「OFF」(右)の方向に回らなくなるまで回し、消火を確認します。



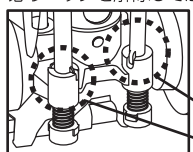
6 容器(ボンベ)の取り外し

容器(ボンベ)を左方向へ止まるまで約60度回し、取り付け時と逆方向に引き容器(ボンベ)を取り外します。

7 収納

バーナー部分が完全に冷めてからセット時と逆の手順で4本のゴトクを閉じ、収納ポーチに収納します。

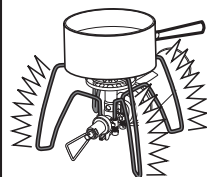
※4本ゴトクを収納する際は下図のように1本づつ必ずロックを解除してから行ってください。



ゴトクをロック状態のまま無理に収納すると破損するおそれがあります。

ロック解除
ロック状態

警告 やけどに注意



ゴトク熱い!

燃焼中、および消火直後はゴトク全体が高温になっていますので絶対にさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

警告 容器(ボンベ)は取り外して保管

容器(ボンベ)を付けたまま保管すると落下や衝撃などでガスが出たり発火するおそれがあります。必ず容器(ボンベ)を取り外して保管してください。

◆製品の経年劣化に関する注意

- 本製品のガスの接続にはゴム部品が使われていますが、ゴム部品は使用頻度に関わらず年月とともに劣化していきます。
- 本製品においては遮熱板の裏側に貼付の銘板に記載の製造年月より10年を目安に、お買い替えをご検討いただきますようお願いいたします。

銘板は、遮熱板の裏側に貼付しています。

型式 ST-310

○○,△△-□□□□□□

新富士バーナー株式会社

○○=製造年(西暦) △△=製造月

◆日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 日常の点検・手入れは必ず行ってください。
- 特に煮こぼれしたときは、必ずバーナーの掃除を行ってください。
- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。
- 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めになった販売店又は当社「お客様係」☎0120-75-5000までご相談ください。

点検・手入れ

- 点検・手入れの前には、必ず容器(ボンベ)をはずし、こんろが完全に冷めてから行ってください。
- 点検・手入れの際は絶対に分解しないでください。

- 本体** 汚れ、水分を放置すると故障の原因となります。ご使用後は、汚れを取り除き、乾いた布で水分をよく拭き取ってから保管してください。汚れの落ちにくい場合は、中性洗剤で汚れを落とし乾いた布でよく拭き取ってください。
- バーナー** バーナーの目づまりは、不完全燃焼の原因となります。煮こぼれなどで汚れた場合は必ず掃除してください。
- 電極** 電極部が汚れると点火しにくくなります。煮こぼれなどで汚れた場合は、乾いた布で拭き取ってください。この時電極の位置は絶対に動かさないでください。
- リング** 使用頻度に関わらず経年劣化する消耗品ですので、使用する前に必ず点検してください。リングに摩擦や損傷がある際や、容器(ボンベ)を取り付けた状態で、異音や異臭がした時は使用せずに販売店または当社お客様係まで相談してください。

◆故障・異常の見分け方と処置方法

原因	症状	セッティングできない	容器(ボンベ)がガスが出ない	消火しない	ガスのおい	点火しにくい	点火しない	バーナーに火移りしない	火力が弱い	炎が不揃い	使用中に火が消える	処置方法
容器(ボンベ)の取り付け不良		○	○		○	○						容器(ボンベ)を取扱説明書どおりに取り付ける
器具栓の故障			○	○	○	○						点検、修理を依頼する
ノズルがつまっている			○			○	○				○	点検、修理を依頼する
ガスがなくなっている(少なくなっている)			○			○	○				○	新しい容器(ボンベ)に取り替える
電極部の汚れ						○						汚れを拭き取る
バーナーの目づまり						○	○	○	○	○	○	金属ブラシなどで掃除する
点火操作が適切ではない						○						正しい点火操作をする
点火装置の故障						○						点検、修理を依頼する

※容器(ボンベ)の温度が低い場合には、火力が弱くなる場合がありますが器具の故障ではありません。